

中高生を対象としたワークショップの実施報告

1 ワークショップ実施の背景と目的

(1) 実施の背景

令和4年6月に成立したこども基本法において、こどもの意見表明機会の確保・こどもの意見の尊重が基本理念として掲げられるとともに、第11条で、市町村はこども施策の策定等に当たってこどもの意見を反映することが義務付けられました。

こうした背景を踏まえ、本市においてはこどもが市政に関心をもち、行政に意見や考えを伝える機会を設けることを目的に学校法人津田学園の協力のもと、「みんなでつくる桑名の明日～中高生が考えるまちづくり～（以下「ワークショップ」といいます。）」を実施しました。

(2) 目的

本ワークショップは津田学園の中高生を対象とし、各2回のワークショップを通じて、「中高生が行政に対して関心をもつ」、「桑名市をよりよいまちにするために行政に意見を届ける」ことを目的として実施しました。

2 ワークショップの概要

対象者	中学3年生	高校2年生
日時	◆第1回 令和6年1月15日（月） 午後1時35分～3時25分	◆第1回 令和6年1月22日（月） 午後3時40分～4時40分
	1 開会・あいさつ 2 アイスブレイク 3 グループワーク 4 発表 5 閉会	1 開会・あいさつ 2 アイスブレイク 3 グループワーク 4 発表 5 閉会
	◆第2回 令和6年2月19日（月） 午後1時35分～3時25分	◆第2回 令和6年2月26日（月） 午後3時40分～4時40分
	1 開会・あいさつ 2 グループワーク 3 発表 4 閉会	1 開会・あいさつ 2 グループワーク 3 発表 4 閉会
会場	津田学園	

3 ワークショップの主な内容

(1) 中学生

テーマ	内容
<第1回> ○桑名市で実施している取組を知る ○桑名市で実施している取組等の課題を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市の令和5年度の10大ニュースを提示し、「知っていること」、「知らないこと」をグループで確認しました。 ・「知っていること」は知ったきっかけを、「知らないこと」は認知度が低い原因を考察しました。 ・桑名市が実施している施策や事業を周知するために必要なことをグループで検討しました。 ・桑名市にある課題を検討しました。
<第2回> ○桑名市に住み続けたいするための取組を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワークショップの振り返りをしました。 ・「こんなまち（桑名市）だったら住み続けたい」について、グループで検討しました。 ・住み続けたいまちの実現に向けて、必要なことを提案しました。

(2) 高校生

テーマ	内容
<第1回> ○隠れている地域課題を知る ○地域課題について、自分、地域、行政ができることを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て世帯」、「引きこもり」、「ヤングケアラー」、「ひとり親世帯」の具体的な事例を提示し、それぞれの事例について、どのような支援や助けがあれば暮らしやすくなるか検討しました。 ・具体的な事例を抱えている人や世帯が身近にいた場合、自分、地域、行政ができることを提案しました。
<第2回> ○桑名市にある課題とその課題に対する解決策を提案する	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市にある課題の検討とその課題に対する解決策について提案しました。



4 ワークショップでた主な意見

(1) 中学生

①桑名市の取組や出来事を知るきっかけと知らない原因

▼桑名市の取組や出来事を知るきっかけ	▼桑名市の取組や出来事知らない理由等
<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースで見る ○友人や親から聞く ○学校、授業で聞く ○実際に体験した、現場に行った、見た、利用したことがある ○市役所で案内を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ○関わりがない。関心がない ○目にする機会がない ○周知が不足している。周知の方法が悪い ○報道されていない ○若者はニュースを見ない
▼桑名市の出来事を周知するために必要なこと	
<ul style="list-style-type: none"> ○地域のニュースアプリをつくり、学校で使っているタブレット等にアプリを入れる ○桑名駅前にあるモニターでニュースを流す、有効活用する ○ホームページが見づらい、利用しづらい 	

②桑名市にある課題と桑名市に住み続けたくするための取組

▼桑名市の課題だということ	
<ul style="list-style-type: none"> ○街灯を増やしてほしい ○公園にゴミが落ちている ○カーブミラーの設置が必要な場所がある ○バス停に屋根とベンチがあるとよい ○桑名駅前のトイレを綺麗にしてほしい ○市だけで取り組むのではなく、全国から多くの人が関わる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通の便が悪い ○税金の使途を知りたい ○駅の周辺を活性化してほしい（店舗・学習スペース） ○他校との交流を望む ○娯楽施設や飲食店があるとよい
▼桑名市に住み続けたくするための取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○昔から続く祭りや神事は変化させずに、映像を流すなどをして認知度を上げる ○SNSやYouTubeを使い、広告を増やす ○市のホームページに桑名市のPR動画を掲載する ○桑名市のCMをつくる ○多世代のニーズの声を聞くために、駅などにご意見箱を設置する ○市内の企業を援助し、商業を発展させる ○移住の支援を手厚くする ○子育て世代へのサポートを行う ○運動できる場所、遊べる場所を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙が行き渡るよう、人材を活用するとともに、設置場所を増やす ○特産品を宣伝する ○スポーツイベントを行うなど、スポーツの魅力を伝える ○ペットと一緒に過ごせる場所を多くする ○防災設備の充実、避難所を整備する ○地域行事を増やして地域の人の交流を深める ○防犯や取り締まりを行い、住みやすい、安全なまちにする ○自然を大切にする ○公共の場所を綺麗にする

(2) 高校生

① 具体的事例に必要な支援

〈子育て世帯への支援〉

- 夜間も利用できる保育園がある
- 短時間だけ子どもをあずけられる
- 同じ境遇の人を集める
- 配偶者に子育てや家事の大変さを知ってもらう機会をつくる
- 子育て支援を強化する（給付金、子どもが遊べる場所を増やす）
- 相談する機会をつくる
- 地域との関わりをもつ
- 配偶者と話し合う

〈引きこもりの人への支援〉

- 親と話し合う、話すきっかけを見つける
- 自分のしたい仕事をみつける
- 地域活動に参加する
- 相談する
- SNS等で人と関わる
- 趣味を仕事にする
- 同じ境遇の人と話す
- メンタルケア

〈家族をケアするヤングケアラーへの支援〉

- 同じ境遇の人と話す
- 親の世話をする人が必要
- 託児所を利用する
- 家事代行などを活用し、自分の時間をつくる
- 本人にヤングケアラーであるという自覚が必要
- 親を支援につなげる
- 地域に頼る
- 資金の援助

〈ひとり親世帯への支援〉

- 情報を提供する場所が必要
- 転職する
- 教育費、生活費を経済的に支援する
- 休暇を取りやすい制度が企業にある
- 子育て支援を強化する（給付金、子どもが遊べる場所を増やす）
- 親族の援助を得る
- 相談窓口を設置する
- 会社内に託児所をつくる
- 同じ境遇の人と話す

②桑名市にある課題と課題の解決に向けた取組

〈桑名市の活性化〉

【課題】

- 公園、野球場、プールがほしい
- 球技ができる公園が少ないため
- 安全性を考えたうえで、上げ馬神事の継続
- 娯楽施設がほしい

【桑名市の活性化に向けた取組】

- 球技が行えるよう、既存の公園にネットなどを増築する
- SNSを活用して桑名市をPRする
- ふるさと納税やクラウドファンディングで資金を集める

〈住みやすいまちづくり〉

【課題】

- 自転車専用の道路がほしい
- 通学路が狭い
- 駅の隣にあるトイレを綺麗にしてほしい
- 福祉センターを増やす

【住みやすいまちにするための取組】

- 住民アンケート等を行い、ニーズを把握する
- 福祉センターを増やすために、空き家を活用する。また、介護士を増やして人手不足を解消する
- 回覧板をデジタル化する

〈安全・安心〉

【課題】

- 街灯を増やしてほしい
- 騒音バイクの取り締まりを強化する
- 道路で遊んでいる子どもがいて危険

【安全・安心に暮らすための取組】

- 住民アンケート等を行い、ニーズを把握する。
- 騒音に関する条例をつくる。警察の巡回を増やしてもらう

〈交通について〉

【課題】

- バス・電車の料金が安い、本数が少ない。

【交通課題の解決に向けた取組】

- 駅周辺を活性化させることで、電車に乗る人が増えて運賃が下がるのではないかと。住民と市の間で話し合いが必要
- 無人駅の改修、ICカードを使えるようにする

5 ワークショップを終えた感じたこと

(1) 中学生

- 住みやすいまちづくりをするためにはいろいろな工夫が必要なのだと思います。
- 桑名にはたくさんの特産品があるのにあまり知られていないのは宣伝がうまくできていないからだと思います。
- ほかの人たちの意見を聞くことができ、いろいろなアイデアがあるのだなと思いました。
- 考え出したら実現してほしいことがたくさんあった。
- 全体的に楽しいまちにしてほしい。
- 市の人に考えを伝える機会があってよかった。

(2) 高校生

- 自分たちが意見を言い合うことが大切だと思います。
- 今まで受け身で過ごしてきた。桑名について、普段とは違った目線から見ることができ新鮮だった。もっと桑名をについて考えるきっかけになった。
- 政治や行政には関心があり、自分の考え、意見を伝えることがしたかったため、このような機会はうれしかった。
- 普段考えない桑名市の課題を見るけるのが楽しかった。友人の意見を聞いて話を深めたり、意見をもらいながら解決策を考えたりして、よいグループワークになったと思う。
- 交通の面という大きな課題はあったけれど、それ以外に特に困ったことがあまりないことがわかって、改めて桑名はよいまちだと思います。
- どのグループも似た意見が多く、問題を共通認識していることがわかった。
- 桑名市に通うようになって、よいまちだと思う反面、もっとこうすればよいのに、と思ってた。このような機会のおかげで伝えることができた。
- 困った点を解決しようと思うとお金や時間がかかるため、それらをできる限り使わない解決策を考えられるともっと住みやすいまちになると思った。
- 桑名市だけでなく、近隣の市町村の活性化やサポートなどが必要だと感じた。地域をよりよくするためには、このように意見を発信させていく重要性を感じた。